

昭和 36 年度 夏期 講習 会

今回プレストレスト コンクリート設計施工指針が改訂となりましたので、夏期講習会をプレストレスト コンクリート技術協会と共催で開催いたします。多数御来聴下さるよう切望いたします。

1. 日 時：昭和 36 年 8 月 23 日 (水), 24 日 (木), 25 日 (金)
2. 会 場：虎の門共済会館 (東京都港区赤坂葵町 2) 冷房設備あり
3. 講習時間, 題目および講師：

第 1 日 (8 月 23 日 (水) 9.00~17.30)

- | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|----------|
| 9.20~9.30 会長あいさつ | 土木学会会長 | 永田 年 |
| (土木学会プレストレスト コンクリート設計施工指針改訂の要旨) | | |
| 1) 9.30~9.40 委員長報告 | 東京大学教授 | 工博 国分正胤 |
| 2) 9.45~11.20 コンクリートの施工 | 東京大学教授 | 工博 国分正胤 |
| 3) 11.30~12.00 PC鋼材 | 極東鋼弦コンクリート
振興KK工事部長 | 宮崎義成 |
| 4) 13.00~13.50 プレストレッシングの
管理 | 国鉄構造物設計事務所
技師 | 野口 功 |
| 5) 14.00~15.50 設計 | 極東鋼弦コンクリート振興
KKコンサルタント部長 | 工博 猪股俊司 |
| 6) 16.00~17.30 グラウト | 国鉄鉄道技術研究所 | M.S 樋口芳朗 |

第 2 日 (8 月 24 日 (木) 9.30~15.40)

- | | | |
|--|-------------------------|---------|
| 7) 9.00~10.10 道路橋におけるプレ
ストレスト コンクリ
ートの応用 | 日本道路公団調査役 | 工博 田原保二 |
| 8) 10.20~11.00 鉄道橋におけるプレ
ストレスト コンクリ
ートの応用 | 国鉄構造物設計事務所
長 | 工博 友永和夫 |
| 9) 11.10~12.10 名田橋の設計施工につ
いて | 徳島県土木部道路計画
課長補佐 | 野口秀美 |
| 10) 13.30~14.00 吉井川橋梁の設計施工
について | 国鉄新幹線総局工事局
設計課 | 小寺重郎 |
| 11) 14.10~14.50 名神高速道路における
プレストレスト コン
クリート橋梁の計画施
工について | 日本道路公団総裁室副
参事 | 栗原利栄 |
| 12) 15.00~15.40 首都高速道路における
プレストレスト コン
クリート連続箱桁橋の
計画施工について | 首都高速道路公団工務
部第三設計課副参事 | 宮崎昭二 |

4. 教 材：(受講者には無代進呈) 教材は受講されない方にも頒布します。

- (1) 昭和 36 年度改訂土木学会プレストレスト コンクリート設計施工指針
- (2) 最近におけるプレストレスト コンクリート——設計施工指針の改訂と PC 橋の現況——

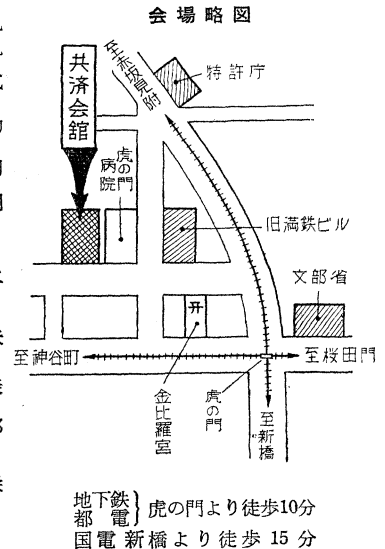
定価 (1) B6判 200 ページ程度 300 円 (〒 50 円) 会員 200 円 (〒 50 円) 程度
(2) B5判 200 ページ程度 600 円 (〒 80 円) 会員 500 円 (〒 80 円) 程度

5. 会 費：(1) 講習会費：会員 1200 円 (教材を含む), 会員外 2000 円 (教材を含む)

(2) 見学会費：500 円 (受講者に限る, バス, 昼食代共)

6. 修了証：講習修了者に交付します。

7. 見学会：8 月 25 日 (金) 満員になり次第締切りますから, その場合は悪しからず御諒承下さい。



見 学 先	集 合 地 解 散 地	集 合 時 刻	一 解 散 時 刻	予 定 人 員	備 考
1 班 オリエンタルコンクリートKK多摩工場, 日本ヒューム管KK工場, 国鉄鉄道技術研究所	集 合 地 土 木 学 会 解 散 地	8.30	17.00	100 名	
2 班 興国鋼線索KK工場 (PC鋼線), 京葉道路, 川崎製鉄KK千葉製鉄所, 土木研究所千葉支所	〃	〃	〃	100 名	
3 班 首都高速道路高架橋, 国鉄根岸線 PC 高架橋工場現場	〃	〃	〃	100 名	

8. 映 画：嵐山橋 (ディビダーク工法), 大井川水路橋 (フレシネ工法), 永田橋 (B.B.R.V 工法)

9. 申込要領：8 月 10 日までに本号 (土木学会誌 46 巻 6 号, またはプレストレスト コンクリート技術協会誌 3 巻 3 号) 添付の申込書に会費を添えて, また班組織のある職場の方は班長において取りまとめてお申込み下さい (会費は必ず前納して下さい。当日会場でのお払い込みは特別の事情のない限りお断りいたします)。

10. 申 込 先：土木学会 (東京都新宿区四谷 1 丁目・電話 (351) 5138 代表・振替口座 東京 16828 番)

昭和 36 年度土木学会名簿発刊について

昭和 36 年度土木学会名簿は本年 11 月末発行の予定で、目下その準備にかかっております。名簿は会員の皆様とその異動等について密接なご連絡によらなければ完全を期しがたいのであります。日常数多くの異動のご通知に接し遅滞なく整理いたしておりますが、毎月会誌発送ごとに若干の返送があるところを見ると、まだ、異動されたままご連絡がない方があるように見うけられますので完璧を期するため、改めて職名、住所、電話等を 6 月号挿入のハガキで、9 月 15 日までにご通知いただいて完全な名簿を発行いたしたい念願でありますので、何卒ご協力のほどお願い致します。

なお、会員名簿は正員以上の会員で 36 年度会費完納の方にかぎり無料で贈呈いたします。

ただし御存じの通り、郵便料の約倍額程度の値上りと、印刷費、製版代その他の値上りによる支出増加のため、約 200 万円の赤字となりますので、1 部につき金 100 円送料その他として御負担をお願い致します。ご送金をご便宜の方法でお送り下さい。

土木学会名簿の各種業者案内欄に広告掲載依頼について

従来土木学会名簿の発刊に際し、名簿を座右銘としての使用価値を高めるために、土木に関係のある官公庁の所在地、所属長名および学校、その他各種団体のほかに会員内外が特に知らんとしている建設業、および土木材料、土木機械、橋梁製作、諸工事業者等、業界の全貌をただちに知り得る名鑑案内を集録しましたところ、会員および一般土木技術者より非常に好評を博しております。今回も会員内外より新しい名簿の発刊を熱望せられておりますので、昭和 36 年度版を発刊することに致しました。

ついては一層完璧な名鑑案内を掲載できるように念願致しますので、御協力のほど御願ひ申し上げます。すなわちこの欄に貴社の御案内（広告）を御掲載下されば 15 000 人の会員が日常引用に便するのみならず、土木技術界全体が御互いに裨益するところが大きいと確信致します。

何卒以上の趣旨を御賛同下さいまして、後記御参照の上もれなく御申込みを願います。

昭和 36 年度土木学会会員名簿発刊計画

(1) 内 容

1. 学 会 要 項：定款および規則、役員、支部役員、前会長、各委員会委員、土木賞受領者、職員
2. 会 員 名 簿：名誉員、賛助員、特別員、正員、学生員（おのおの五十音順）
3. 主 な 職 場 機 関：学校（土木科設置）校名、所在地
官庁（土木関係局部課名）長主任、所在地
公庁および地方庁（ “ ） “
市 （ “ ） “
関係諸団体
4. 電力株式会社
5. コンサルタント業
6. 建 設 業 者：登録、名称、代表者名、所在地、電話番号
7. 材 料 業 者： “
8. 橋 梁、機 械 器 具 製 作 業 者： “
9. 諸 工 事 請 負 業 者： “
10. 出 版 業 者： “

(2) 大 き さ、体 裁：A 5 判、7 ポ横組、500 ページ程度

(3) 頒 布 価 格：学生員 100 円（送料 100 円）、会員外 300 円（送料 100 円）

(4) 発 行 期 日：昭和 36 年 11 月 10 日（予定）

(5) 申 込 所：土木学会（東京都新宿区四谷 1 丁目、振替東京 16828）

案内欄の掲載申込みについて

1. 掲 載 料：下記見本1間、会員 2000 円・会員外 2500 円
2. 原 稿：下記見本にならって原稿ハガキに明瞭に御記入願ひ、1社で両業種に該当する場合は両方に御申込み下さい。1社で3間まで用いられます。
3. 掲 載 順：各業種別に五十音順とします。
4. 申 込 期 限：9 月 15 日まで（申込みと同時に掲載料金を御払込み下さい）
5. 名 簿 進 呈：掲載主には名簿1間につき1冊差上げます。

〔建設業者およびコンサルタンツ案内組見本〕

登録番号社名・代表者名	所 在 地	電 話	
3 間 の 例 西松建設株式会社 取締役社長 西松三好 取締役副社長 西松醇厚	本 社：東京都港区赤坂丹後町 17	(481) 代 4141	
	東北支店：仙台市大町 2 の 83	(2) 代 8161	
	関東支店：東京都渋谷区宇田川町 48	(461) 代 1141	
	中部支店：名古屋市中区御幸本町 9 の 8 大和生命ビル内	(23) 代 6141	
	関西支店：大阪市東区釣鐘町 2 の 41	(94) 代 8431	
	四国支店：高松市西新通町 2 の 3	(2) 代 4441	
	九州支店：福岡市本町 2	(4) 代 6436	
	札幌営業所：札幌市北 6 条西 14 丁目 4 の 26	(2) 代 7765	
社 名・代 表 者	営 業 種 目	所 在 地	電 話
1 間 の 例 パシフィックコンサル タンツ株式会社 取締役社長 平山復二郎	測量、地質調査、 土木設計及工事管理	東京都新宿区南元町 8	(341) 代 9151

〔コンクリート・橋梁・諸工事業者案内組見本〕

社(店)名・代表者	営 業 品 目	所 在 地	電 話
3 間 の 例 興和コンクリート 株式会社 取締役社長 田中茂美	プレストレスト・ コンクリート製品 製造販売並に現場 施工	本 社：東京都中央区銀座西 6 の 6	銀座 (571) 8655~7
		合同ビル 2 階 名古屋営業所：名古屋市中区矢場町 2 の 42 菅原ビル	(42) 8689
		大 月 工 場：山梨県大月市大月町 (大月 駅側線)	大月 116・167
		豊 橋 工 場：愛知県宝飯郡小坂井町	小坂井 411~2
2 間 の 例 株式会社 宮地鉄工所 取締役社長 宮地武夫	橋梁、鉄骨、鉄塔、 鉄管、其他鋼構造物 の設計、製作並現場 架設工事	本 社 工 場：東京都江東区南砂町 9 の 2470	深川(644) { 4141(代)~9 4140
		波 田 工 場：長野県東筑摩郡波田村 札幌営業所：札幌市北 2 条西 3 丁目 越山ビル	波 田 160 (代) 札 幌 (2) 6819
		名古屋営業所：名古屋市中区桑名町 4 の 18	名古屋 (23) 1029・4011
		大阪営業所：大阪府西区西長堀北通 1 の 5 四つ橋ビル	大 阪 (54) 1602
		福岡営業所：福岡市若宮町 38 石井ビル	福 岡 (75) 1206
1 間 の 例 建設大臣(ホ) No. 2208 鉄道塗装工業 株式会社 取締役社長 遠藤忠夫	橋梁、船舶、鉄柱、 建物其他一般塗装 及び橋梁の修理架設 工事請負	本 社：東京都千代田区神田鍛冶町 1 の 13 出張所：東京、静岡、名古屋、大阪、広島 四国、九州、新潟、仙台、札幌	(251) { 5378 2522~3 (291) 7964

∴ 申込者は土木学会に御通知下されば、原稿カードをお送りいたします。

第8回海岸工学講演会について

日 程：講演会 1961年9月12日(火)～13日(水)
見学会 " 9月14日(木)～15日(金)

会 場：札幌商工会議所

見 学 会：申込みは8月20日までに会費を添えて北海道支部へ申込まれたい。

Aコース 9月14日 札幌市内観光 会費500円 定員100名

Bコース 9月14～15日 札幌～苫小牧～室蘭～洞爺湖温泉(一泊)～札幌 会費2,500円 定員100名

宿 舎 申 込：8月20日までに北海道支部へ氏名、連絡先を明記して申込まれたい。

Aクラス 旅館 1500円 150名ほど手配、受入れ決定すればその旅館から連絡されます。

Bクラス 会館 700円 50名まで、受入れ決定すれば支部から連絡されます。

講 演 集：土木学会 会員700円、会員外800円、(送料100円)

申 込 先：札幌市北3条西5丁目北海道土木部港湾課第8回海岸工学講演会準備委員会

9月12日(火)

9.30～9.45	委員長挨拶	東 大 工 学 部	本 間 仁
1) 9.45～10.00	太平洋沿岸の台風による波の特性とその推定法	運 輸 省 港 湾 研 究 所	坂 井 信 武 雄
2) 10.00～10.15	日本沿岸の波の分布について	運 輸 省 港 湾 研 究 所	坂 井 信 武 雄
3) 10.15～10.30	海底摩擦による波高減衰の基礎的研究(1)	京 大 防 災 研 究 所	坂 井 信 武 雄
10.30～10.45	討 議		
10.45～11.00	休 憩		
4) 11.00～11.15	流れをさかのぼる波の一計算	運 輸 省 港 湾 研 究 所	坂 井 信 武 雄
5) 11.15～11.30	水路に侵入する津浪の計算 一高知港の場合一	運 輸 省 港 湾 研 究 所	坂 井 信 武 雄
6) 11.30～11.45	長波の局所変形に関する実験的研究	阪 大 工 学 部	坂 井 信 武 雄
11.45～12.00	討 議		
12.00～13.00	休 憩		
7) 13.00～13.15	津波の変形と打上げ高	北 大 工 学 部	坂 井 信 武 雄
8) 13.15～13.30	大船渡湾における津波の計算	北 大 工 学 部	坂 井 信 武 雄
9) 13.30～13.45	気仙沼湾の津波の模型実験について	東 北 大 工 学 部	坂 井 信 武 雄
10) 13.45～14.00	有明海の高潮について	九 大 応 力 研 究 所	坂 井 信 武 雄
11) 14.00～14.15	波浪計設置計画について 一東京港における観測計画例一	気 象 研 究 所	坂 井 信 武 雄
14.15～14.30	討 議		
14.30～14.45	休 憩		
12) 14.45～15.00	新しい消波用コンクリート ブロックに関する研究	大 阪 市 大 工 学 部	坂 井 信 武 雄
13) 15.00～15.15	防波堤および海岸堤防前面におかれた消波用ブロックの効果について	大 阪 市 大 工 学 部	坂 井 信 武 雄
14) 15.15～15.30	土研式ブロックを用いた根固工法について	建 設 省 土 木 研 究 所	坂 井 信 武 雄
15) 15.30～15.45	テトラポット防波堤に関する実験的研究	北 海 道 開 発 局 土 試 験 所	坂 井 信 武 雄
15.45～16.00	討 議		
16) 16.00～16.15	個々の堤体を延長方向に連結した場合の防波堤の安定	室 蘭 工 道 工 学 部	坂 井 信 武 雄
17) 16.15～16.30	接岸時船舶の衝撃力について(第二報)	中 大 工 学 部	坂 井 信 武 雄
18) 16.30～16.45	東京港海岸防災工事報告(その一)	大 京 港 湾 局	坂 井 信 武 雄
16.45～17.00	討 議		

9月13日(水)

19) 9.30～9.45	名古屋港付近の潮流に関する水理模型実験(1)	京 大 防 災 研 究 所	坂 井 信 武 雄
20) 9.45～10.00	境水道の水位変動に関する模型実験について(II)	京 大 防 災 研 究 所	坂 井 信 武 雄
21) 10.00～10.15	斜里漁港模型実験について	北 大 工 学 部	坂 井 信 武 雄

10.15~10.30	討 議				
22) 10.30~10.45	移動床実験の現地海岸への適用に関する一考察	徳島大工学部	榎木 亨		
23) 10.45~11.00	海岸変形の実験における縮尺効果の研究	京大防災研	岩野 雄英		
24) 11.00~11.15	島および湾の海岸変形について	防衛大工学	真溝 嶋口		
25) 11.15~11.30	海岸における砂の粒度分布について	防衛大工学	真溝 嶋口		
26) 11.30~11.45	渥美湾大洲海岸における海浜砂の粒度分布について	京大防災研	小 木 正忠		
11.45~12.00	討 議				
12.00~13.00	休 憩				
27) 13.00~13.15	駿河湾田子浦海岸の波と漂砂	富士臨海地区総合開 発事務所	○市川 武美		
28) 13.15~13.30	茨城県磯浜港海岸の漂砂について	運輸技研	落富井 治一		
29) 13.30~13.45	海岸の防災研究における諸問題	茨城県港湾課	○佐野 武昭		
13.45~14.00	討 議				
30) 14.00~14.15	堺工業港の現況について	京大防災研	青野 義雄		
31) 14.15~14.30	最近建設された灯標について	大阪府土木部	寺西 宗		
14.30~14.45	討 議				
14.45~15.00	休 憩				
32) 15.00~15.15	河口における水面上昇に関する研究	第三管区海上保安 本部	長 崎 登治		
33) 15.15~15.30	河口砂の掃流に関する実験的研究	日大理工学部	久 宝 保		
34) 15.30~15.45	相模川河口について	日大理工学部	久 宝 保		
35) 15.45~16.00	石狩川の河口構造	東大工学部	○中村 充彦		
16.00~16.15	討 議				

第 11 回 応用力学連合講演会

共 催：日本学術会議力学研究連絡委員会，○応用物理学会，○造船協会，土木学会，日本機械学会，日本建築学会，日本航空学会，○日本数学会，日本物理学会（○印は幹事学会）

例年のとおり標記の講演会が行なわれますが、紙面の都合上土木学会受付の 20 編を抜すいしてお知らせいたします。全体のプログラムをご希望の方は、学会あてお申し込み下さい。

- と き：昭和 36 年 8 月 30 日（水）～9 月 1 日（金）
- と ころ：大阪大学工学部 2 号館（大阪市都島区東野田町）
ただし、特別講演は工学部講堂
- 講演部門：（第Ⅰ部）弾性学，塑性学，構造力学，材料力学，土の力学等
（第Ⅱ部）流体力学，空気力学，水力学，水理学，気象学，潤滑等
（第Ⅲ部）熱，熱力学，熱伝達，燃焼等
（第Ⅳ部）一般力学，振動，波動，応用数学，自動制御，計算器等
- 日程表：（Ⅰ），（Ⅱ），（Ⅲ），（Ⅳ）は講演部門を示す

開催日	時刻	学術講演・特別講演		
		第 1 室 (3 階 22 号室)	第 2 室 (2 階 20 号室)	第 3 室 (2 階 21 号室)
8 月 30 日（水）	9.00~12.10	(Ⅰ) 101~109	(Ⅱ) 201~209	(Ⅳ) 401~409
	13.00~16.50	(Ⅰ) 110~120	(Ⅱ) 210~220	(Ⅳ) 410~420
31 日（木）	9.00~12.10	(Ⅰ) 121~129	(Ⅲ) 301~309	(Ⅳ) 421~429
	13.00~14.00	特別講演 (1)		
	14.00~15.00	特別講演 (2)		
	15.00~16.00	特別講演 (3)		
	16.30~18.00	懇親会（構内クラブ 2 階会議室） 会費 300 円（ビール，軽食）		
9 月 1 日（金）	9.00~12.10	(Ⅰ) 130~138	(Ⅱ) 221~229	(Ⅳ) 430~438
	13.00~17.10	(Ⅰ) 139~150	(Ⅱ) 230~234	(Ⅳ) 439~441

5. 特別講演：

開催日	時刻	題目	講演者
8 月 31 日（木）	13.00~14.00	(1) 最近の光弾性学について	理化学研究所 工博 西田 正孝
	14.00~15.00	(2) 近年の船舶流体力学の趨勢について	日立造船技術研究所長 工博 木下 昌雄
	15.00~16.00	(3) キャビテーション	東北大学教授 工博 沼知福三郎

会 告

6. 講演 (土木学会受付30編) :

期 日	部 門	会場	講演 番号	講演時間	題 目・講 演 者
8月30日	第I部 (材料力学)	1室	109	11.50~12.10	曲線直交異方性変厚扇形平板の曲げについて 北大工 芳村 仁
"	"	"	115	14.40~15.00	変断面I型梁の横座屈について 北大工 浜吉 福治
"	"	"	117	15.30~15.50	斜板の解法について 道開発局土試 岡元 北海
"	"	"	118	15.50~16.10	斜板橋の影響面に関する研究 阪市大工 倉田 宗章 〇波多野昭吾
"	第IV部 (一般力学)	3室	404	10.00~10.20	有層弾性体を伝わる波について 信州大工 夏目正太郎
"	"	"	405	10.20~10.40	多スパン桁の振動について 早大理工 平島 政治
"	"	"	406	10.50~11.10	水中に立られた Flexible Pier の振動 早大理工 桜井 彰雄
"	"	"	407	11.10~11.30	地下鉄道における騒音と振動の一特性 東大生研 久保慶三郎
" 31日	第I部 (材料力学)	1室	121	9.00~ 9.20	内円筒で付着している同心二物体の付着応力について 室蘭工大 能町 純雄
9月1日	"	"	137	11.30~11.50	中空圧縮材の安定性について 建土研 横田 周平
"	"	"	138	11.50~12.10	部分固定板の振動に関する理論および実験的研究 阪市大工 倉田 宗章 阪工大 〇岡村 宏一
"	"	"	139	13.00~13.20	軸力および剪断力を考慮した、アーチ部材を含むラ ーメンの解法 九大工 山崎 徳也
"	"	"	140	13.20~13.40	行列による骨組構造物の解法 鉄 研 大地 羊三
"	"	"	141	13.40~14.00	楕円関数によるフラット スラブの解法 (第3報) 金沢大工 小野 一良
"	"	"	142	14.00~14.20	梁, ラーメン, 平板の新しい解析法 (相反作用法, 撓み法) 信州大工 谷本勉之助
"	"	"	143	14.20~14.40	不均一な弾性路盤上の舗装版の応力解析 中大工 山口 柏樹
"	第II部 (流体力学)	2室	231	13.20~13.40	開水路乱流内の変動流速スペクトル 京大農工 南 勲
"	"	"	232	13.40~14.00	河床土砂礫の容積特性と土砂水理学へのその応用 岐阜大工 河村 三郎
"	"	"	233	14.00~14.20	吸水管による渦について (第3報) 日大理工 粟津 清蔵
"	"	"	234	14.20~14.20	垂直段落の水理現象 (第2報) 山梨大工 〇佐々木大策 萩原 能男

7. 講演論文抄録集 :

下記により講演論文抄録集 (前刷) を実費で予約領布いたします。部数に限度がありますから、早めに代金を添えて 8月5日までに、学会にお申し込み下さい。

種 別	第I部	第II・III部合冊	第IV部
内 容	材料力学	流体力学	熱 一般力学
講演題数	50 題	34 題	9 題 41 題
領 価	350 円	300 円	300 円

(全3冊 計 950 円送料とも)

第5回材料試験連合講演会

共 催 : 日本学術会議材料試験研究連絡委員会, 金属表面技術協会, 高分子学会, 造船協会, 土木学会, 日本鑄物協会, 〇日本化学会, 〇日本機械学会, 日本金属学会, 〇日本建築学会, 日本航空学会, 日本材料試験協会, 〇日本セメント技術協会, 日本鉄鋼協会, 日本非破壊検査協会, 日本木材学会, 溶接学会 (〇印幹事学会)

例年のとおり標記の講演会が行なわれますが、紙面の都合上土木学会受付の5編を抜すいしてお知らせいたします。全体のプログラムをご希望の方は、学会あてお申し込み下さい。

- と き : 昭和 36 年 9 月 7 日 (木) 8 日 (金) の 2 日間
- と ころ : 東京大学工学部 2 号館 特別講演会場 大講堂
第1会場...21 号講義室 第2会場...25 号講義室 第3会場...26 号講義室
- 講演部門 : 第I部 金属材料 第II部 非金属材料 第III部 一般
- 日 程 :

第 1 日	9 月 7 日 (木)			第 2 日	9 月 8 日 (金)		
	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場		第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場
9.30~12.00	I (101~107)	I (201~207)	II (301~307)	9.30~12.00	I (116~122)	I (216~222)	II III (316~322)
13.00~14.00	特 別 講 演			13.00~14.00	特 別 講 演		
14.10~17.00	I (108~115)	I (208~215)	II (308~315)	14.10~17.20	I (123~131)	III (223~230)	III (323~330)
17.30~19.30	懇 親 会 (学生会館別館) 会 費 400 円 (ビール, 軽食)						

5. 特別講演 :

開催日	時 刻	題 目	講 師
9 月 7 日 (木)	13.00~14.00	非破壊検査と材料試験	東京大学工学部教授 木 原 博
9 月 8 日 (金)	13.00~14.00	わが国の都市防火	東京大学工学部教授 浜 田 稔

6. 講演 (土木学会受付5編) :

期 日	部 門	会 場	講演 番号	講 演 時 間	題 目 ・ 講 演 者
9月7日	第Ⅱ部 (非金属材料)	3会場	312	15.40~16.00	鉄筋コンクリート梁の衝撃試験に関する研究 東大 大東大 関分 正風 ○池田 尚治
"	"	"	313	16.00~16.20	フライアッシュがコンクリートの強度 日本セメント研 山崎 寛司 におよぼす効果に関する基礎研究
" 8日	"	"	317	9.50~10.10	硬化セメントペーストの熱膨張について 日本セメント研 本間栄五郎
"	"	"	318	10.10~10.30	舗装用コンクリートの乾燥収縮に関する研究 東大 関分 正風 東大 大東大 ○長瀬 重義
"	"	"	319	10.30~10.50	AEコンクリートの初期高温養生 小野田セメント中研 杉木 六郎 について " " ○河野 清一 " " 渋谷 喜一

7. 講演前刷:

下記により講演前刷を実費で予約領布いたします。部数に制限がありますので、8月26日までに代金を添えて、下記申込先あてお申込み願います。

種 別	第Ⅰ部	第Ⅱ・Ⅲ部合冊
内 容	金 属 材 料	非金属材料 一 般
講演題数	53 題	38 題
頒 価	350 円	300 円

2冊合計 650円 (送料とも)

申込先 社 団 法 人 日 本 機 械 学 会 東 京 都 千 代 田 区 丸 ノ ノ 内 2-2 (丸ビル561区)

第8回「風に関するシンポジウム」講演募集

恒例により第8回風に関するシンポジウムが、下記のとおり10学会共催で行なわれますので、この問題に関する研究の論文発表を募集いたします。

会 期: 昭和36年11月13日(月), 14日(火)

会 場: 農業技術研究所講堂 (北区西ヶ原町2の1)

申込期限: 36年9月30日

申込方法: 題目, 講演者氏名とともに400字以内の講演要旨をつけて申込まれたい。

共催学会: 地震学会, 土木学会, 日本火災学会, 日本海洋学会, 日本気象学会, 日本建築学会, 日本航空学会, 日本地理学会, ○日本農業気象学会, 日本林学会 (○印は幹事学会)

関西支部行事案内

(大阪市東区大手前之町 大阪合同庁舎 近畿地方建設局企画室内)
(電大阪(94)代表7041 振替口座 大阪82599 番)

(1) 第2回見学会 (二津野, 棕呂方面)

- 期 日: 36年8月12日(土), 13日(日) 両日
- 集 合: 近鉄参宮線大和八木駅前(奈良県橿原市...上本町発 8.20, 八木着 8.51 の電車あり)
- 定 員: 50名
- 行 程: (第1日) 借上観光バス(奈良交通バス) 9.00 大和八木駅発→1. 国24号40分→9.40 大和五条市→2. 国168号3. 時間→12.40 風屋着, 昼食, ダム見学(1.20)→14.00 風屋発→60分→15.00 芦瀬瀨発電所着(地下発電見学30分)→15.30 芦瀬瀨発→60分→16.30 二津野ダム着(アーチダム見学40分)→17.10 二津野発→50分→18.00 湯之峯着(和歌山県本宮町湯之峯温泉東屋一泊), (第2日) 8.30 湯之峯発(途中棕呂発電所工事見学30分)→10.00 宮井着下車→10.20 熊野交通プロペラ船宮井発→12.20 漕着, 12.20 漕発(引き返えし)→13.40 宮井着バス乗車→約90分→15.10 新宮着, 解散. (参考) 南紀3号(309号車) 準急, 新宮駅始発 15.45, 和歌市駅着 20.10, 天王寺駅着 20.54
- 参加費: 3000円(宿泊料1500円, 借上バス代800円, その他700円)
- 申込方法: 勤務先, 連絡先(住所, 電話番号...呼出し可...) および氏名を明記し 参加費3000円(送金は振替利用)を添え7月31日(月)までに土木学会関西支部へお申込み下さい。
- その他: 1. 申込期限内でも定員に達したときは先着順で決め(参加章送付)ますから, 至急お申込み下さい。
2. 行程中滞方面は時間その他の都合で中止することがありますからおふくみ下さい。
3. 大和八木集合まで, および新宮解散後の交通費は自弁となります(例, 上本町, 大和八木間90円, 新宮, 天王寺時間準急券とも830円)。

(2) 気象に関する研究会

- 期 日: 36年8月29日(火) 14-17時
- 場 所: 大阪管区気象台 大阪市生野区勝山通9の72 (1. 大阪環状線桃谷駅下車南約500m, さらに東約800m. 2. 市電, 勝山通り三下車東へ約1100m, 3. 市バス生野区役所前下車東へ約50m).
- 見 学: 大阪管区気象台内諸施設 14.00~15.00
- 研 究 会: 会場 同気象台内会議室 15.00~17.00 (各約40分)

会 告

題目と講師

“台風予報の今昔”

1. 現在までの台風の予報 大阪管区気象台 台長 理博 大谷 東平
2. 数値予報の原理 “ 予報官 藤 範 晃 雄
3. 北半球の広域予報 “ 予報官 中 島 暢太郎

5) 定 員：50名 6) 参加費：無料

7) 申込方法：勤務先、連絡先（住所、電話番号…呼出しも可…）および氏名を明記して 8月10日（木）までに土木学会関西支部へお申込み下さい。

8) その他：1. 申込期限内でも定員に達したときは先着順で決めますから至急お申込み下さい。参加決定者には参加章を送りますから当日は持参下さい。2. 当日台風接近のおそれある場合は中止することがあります。

(3) 関西支部年次学術講演会

1) 日 時：36年11月12日（日）9.00～17.00

2) 場 所：神戸大学工学部松野学舎 神戸市長田区松野通三丁目（国鉄新長田駅西方約200m）

3) 講演申込方法：申込カード（切り放さないこと）に部門、題目、スライドの有無、勤務先、会員種別、学位、氏名（連名のときは講演者に○印をつける）、学校名卒業年次、連絡先および連絡者を明記の上8月21日（月）までに土木学会関西支部へ必着するように提出して下さい。申込カードは関西支部に請求して下さい。

4) 原稿提出要綱：講演の申込みをされる方は次の要領により講演原稿を提出していただき講演概要（B5判、タイプ印刷）を支部で作製し、講演者および一般聴講者に無料で配布します。

1. 原稿字数：1題につき図表をふくみ 3000字以内、ただし図表は1cm²を8字として計算すること。なお図表はそのまま印刷原紙にトレースするからあらかじめ縮尺したものを提出して下さい（鉛筆書きは不可）。

2. 原稿制限：a. 制限字数を超過したものは受け付けません。

b. 写真は使用しないこと。

3. 執筆要領：a. 題目の下には必ず勤務先、会員種別、学位あるものは学位および氏名を記入して下さい。（連名には講演者に○印）

b. 申込みの題目と講演概要に記載する題目とは一致させること。

4. 提出方法：36年9月15日（金）までに関西支部へ必着のこと。

5) 講演時間：20分間（質疑応答をふくむ）

6) 講演内容：未発表のものに限る。

7) その他：プログラムおよび一般聴講者の申込方法などについては9月号に連載の予定。

精密測定講習会開催について

精機学会は第6回精密測定講習会を下記のとおり開催することになり、本会はこの講習会に共賛することとなった。本会会員は精機学会会員と同等の資格で取扱われるから、希望者は本会または精機学会に申込みたい。

記

1. 期 日 昭和36年10月3日（火）～6日（金）

2. 場 所 講義 家の光会館（新宿区船河原町11）

実習 中央計量検定所、機械総合研究所

3. 日 程 題目および講師

月 日	時 間	題 目	講 師
10月3日（火）	9.30～10.30	光学的測定的基础	機械試験所 浮田 祐 吉
	10.30～12.00	顕 微 鏡	オリンパス光学 宮 田 尚 一
	13.00～14.00	測 長 機	中央計量検定所 朝 永 良 夫
	14.00～15.00	オートコリメーターおよびアライナー	日本光学 杉 豊
	15.00～16.00	実体写真測定	東京大生研 丸 安 隆 知
10月4日（水）	9.30～11.00	投 影 機	中央計量検定所 山 本 健 太 郎
	11.00～12.00	各種光学的測定機器	東京大工 青 木 保 雄
	13.00～14.00	工作機械用測定器	東京光学機械 丸 山 修 治
	14.00～15.00	トランジットおよびレベル	国土地理院 坪 川 家 恒
	15.00～16.00	高速度写真測定	東京大生研 植 村 恒 義

4. 定 員 講義のみ 100名 } 先着順により満員になり次第締切。
講義および実習 100名 }

5. 会 費 講義のみの場合 会員 1500円 会員外 2500円 } テキスト1冊代をふくむ
講義および実習の場合 会員 3000円 会員外 5000円 }

6. テキスト テキストのみ希望の方、または受講者でテキスト2冊以上希望の方は、1冊につき会員500円、会員外800円の割で送金されたい。講習会終了後発送される。

7. 講習会申込方法

○申込用紙 所定の申込用紙または同形式により、会費を添えて申込むこと

○申込期限 昭和36年9月25日（月）

○申込先 東京大学工学部精密教室内 社団法人 精密学会（東京都文京区本富士町）